

第3回学びの組織活性化プロジェクト ～西別府教諭が英語の研究授業を行いました～

12月7日（月）に、第3回目の学びの組織活性化プロジェクトが実施され、西別府教諭が2年生で英語の研究授業を行いました。

今回は、生福小・冠岳小の先生方も参加され、研究授業・授業研究等と一緒に取り組みました。鹿児島県教育庁義務教育課の河野指導主事と鹿児島教育事務所指導課の坂本指導主事に、参観していただき、鹿児島大学教育学部大学院の廣瀬准教授には、これからの授業研究のあり方について、講話をしていただきました。

授業を受ける生徒よりも多い、参観者でしたので、2年生はやや緊張した様子でしたが、一生懸命にがんばっていました。



授業スタート！ 若干緊張気味です



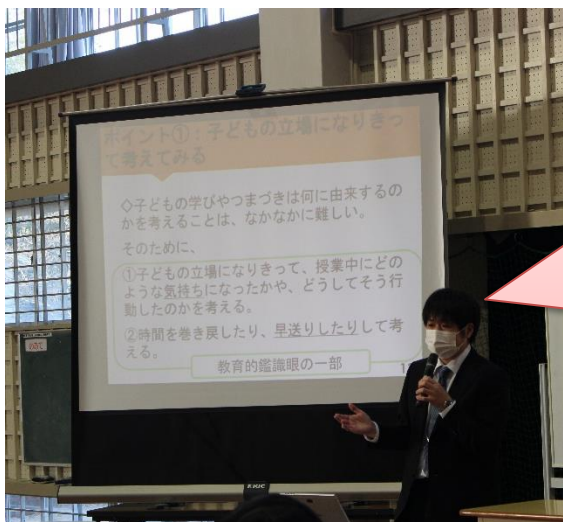
学びの様子を付箋紙に書き留めています



グループで確認中「これでいかな～」



授業終了後、研究協議を行い、それぞれ出た意見を発表して、今後の授業改善の方向性を話し合いました。



廣瀬准教授からは
 ・シャーロックのように事実の観察を丁寧に！
 ・NGワードの使用はみんなで回避しましょう。
 ・子どもの姿（事実）の確認から、参加者の会話（分析）が始まっているかどうか留意しましょう。
 ・授業者の思いや願い（目指したい子どもの姿を大切に、意識しながら、会話（分析）を進めましょう。
 ・子どもになりきって、心の声や気持ちを創造し、みんなでアイデアを出し合おう（知恵の共有）

等のお話がありました。